

1 単元名 日本の諸地域「北海道地方」「東北地方」(内容のまとめりC日本の様々な地域(3)日本の諸地域)

2 単元設定の理由

(1)教材について

- ・「日本の諸地域」は、「自然環境」「人口や都市・村落」「産業」「交通や通信」を中核とした4つの考察の仕方を基にして、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、資質・能力を育成する単元である。北海道地方は寒冷な気候や火山活動、東北地方は夏に冷害(太平洋側)、冬に大雪(日本海側)が見られるなど自然環境が厳しい地域であり、自然環境が人々の生活・文化や産業などと深い関係をもっており、自然環境を中核とした考察に取り組むことに適した単元である。
- ・北海道地方と東北地方では、空間的相互依存関係や地域などに着目して、地域的特色や地域の課題を理解したり、それらを有機的に関連付けたりすることを通して、知識を概念的につなげることを単元のねらいとする。
- ・北海道地方は気候を観光資源として観光業を発展させたり、東北地方は地域の自然や文化が反映された伝統行事によって地域を活性化させていたりしていることから、課題を設定し、探究する活動を通して、社会的事象を自然環境との関連から捉え、多面的・多角的に考察し、表現する力を養うことに効果的な単元である。

(2)学習者について

- ・教科アンケート(7月)では、「社会科の授業が好き」86.3%「社会科の授業がわかる」89.7%であり、社会科の授業についての関心は概ね高く、意欲的に取り組むことができているが、「地理の学習が好き」61.7%という結果から、地理的分野については苦手意識があることがうかがえる。
- ・学習者は前単元の「日本の地域的特色と地域区分」の学習で、分布や地域などに関わる視点に着目して、日本の国土の地域区分や区分された地域の地域的特色と地域区分の方法や意義を学び、概念的な知識や技能を学習している。
- ・教科アンケート(7月)では、「地図や資料を読み取ったことを適切にまとめることができる」70.6%、「自分の考えや思いをはっきりと発表できる」49.4%であり、資料を活用したり、表現したりする能力に課題がある。

(3)指導について

- ・単元を貫く課題(パフォーマンス課題)を設定することで、学習者が主体的に地理学習に取り組めるようにするとともに、北海道地方と東北地方とを比較・分析し、地域的特色や課題を理解するように指導する。
- ・自然環境を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けてレポートを作成する活動を通して、自然環境に焦点化した視点を設け、情報を収集、読み取る、まとめる技能を身に付けるように支援する。
- ・自らの学びをグループで共有する際に、知識構成型ジグソー法やプレゼンテーションの手法を用いて協働的な学習を行い、学びを深めさせる。また、自らの意見に自信を持って発表できるように、聴く側は共感的に傾聴するように促す。

3 単元指導計画(内容のまとめりC日本の様々な地域(3)日本の諸地域)

| 1(7時間)<br>北海道地方<br>東北地方                              | 2(4時間)<br>関東地方                    | 3(4時間)<br>中部地方                                     | 4(4時間)<br>近畿地方                   | 5(4時間)<br>中国・四国地方                    | 6(6時間)<br>九州地方  |
|--|-----------------------------------|--|----------------------------------|--------------------------------------|---|
| 自然環境<br>【○知識・○技能】<br>【○思考・判断・表現】<br>【○主体的に学習に取り組む態度】 | 交通・通信<br>【○知識・●技能】<br>【●思考・判断・表現】 | 産業<br>【○知識・○技能】<br>【○思考・判断・表現】<br>【●主体的に学習に取り組む態度】 | 人口や都市・村落<br>【○知識】<br>【●思考・判断・表現】 | 人口や都市・村落<br>【○知識・●技能】<br>【●思考・判断・表現】 | 交通・通信<br>【○知識・○技能】<br>【○思考・判断・表現】<br>【○主体的に学習に取り組む態度】 |
|  |                                   |  |                                  |                                      |   |

#### 4 単元の目標

##### 〈知識及び技能〉

- 北海道地方と東北地方について、比較的冷涼な気候と豊かだが厳しい自然環境が諸産業と結び付いていることや、環境保全への取組、それぞれの地域での持続可能な地域づくりに向けた取組と、そこで生じる冷涼な気候における地域の在り方や防災対策などの課題について理解できるようにする。
- 北海道地方と東北地方について、調査活動や諸資料から課題解決に必要な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

##### 〈思考力、判断力、表現力等〉

- 北海道地方と東北地方の自然環境とそこで暮らす人々の生活の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、特色ある自然環境や諸産業の様子、持続可能な地域づくりに向けた取組と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。

##### 〈学びに向かう力、人間性〉

- 北海道地方と東北地方について、見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返りながら課題を追究しようとする態度を養う。
- 北海道地方と東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。
- 他者の考えを思いやりをもって共感的に聴く姿勢を養う。

#### 5 評価規準

| ア 知識・技能   | イ 思考・判断・表現   | ウ 主体的に学習に取り組む態度  |
|---|--|--|
| ①北海道地方と東北地方について、比較的冷涼な気候と豊かだが厳しい自然環境を生かしたり克服したりする産業がおこなわれていることや、環境保全への取組、それぞれの地域での持続可能な地域づくりに向けた取組と、そこで生じる冷涼な気候における地域の在り方や防災対策などの課題を理解している。<br>②北海道地方と東北地方について、調査活動や諸資料から課題解決に必要な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 | ①北海道地方と東北地方において、魅力的なエコツーリズムの企画（レポート、プレゼンテーション）を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、特色ある自然環境や諸産業の様子、持続可能な地域づくりに向けた取組と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 | ①北海道地方と東北地方について、見通しをもって学習に取り組み、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。<br>②他者の考えを取り入れながら、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 |

#### 6 指導と評価の単元計画

| 時   | 主な学習活動・ねらい   | 指導上の留意点【問いを生み出す工夫】  | 評価の視点 |   |   | 評価規準<br>評価方法   |
|---|--|---|-------|---|---|--|
|   |  |   | ア     | イ | ウ |  |
| 単元を貫く課題：北海道地方と東北地方における魅力的なエコツーリズムとはどのようなものだろうか。 |  |   |       |   |   |  |
| 1   | 資料を参考にして北海道地方と東北地方の現状と魅力について意見を出し合う活動を通して、単元を貫く課題を設定し、自然環境を考察する意義を見出し、学習の見通しを持つ。 | ・北海道地方と東北地方の魅力について考えさせる。<br>・単元を貫く課題（パフォーマンス課題）を設定する。                     |       |   | ① | 【ウ①主体的に学習に取り組む態度】北海道地方と東北地方の現状と魅力について自分の考えを書いている。また、単元の見通しを持つことができている。<br>OPP, 行動観察  |
| 2   | 北海道地方と東北地方に暮らす人々の生活・文化と産業について、自然環境への対応に着目して、情報を収集し、ICT 端末でレポートを作成する。             | ・班で調査対象を分担させる。<br>・北海道地方と東北地方に暮らす人々の生活・文化と産業について、自然環境への対応に着目してレポートを作成させる。 | ②     | ① |   | 【ア②技能】自然環境を中核に、生活・文化と産業などについて調べ、考察に必要な情報を整理している。<br>【イ①思考・判断・表現】エコツーリズム企画について、自分の考えを根拠と理由を明確にして文章で表現している。<br>レポート(Google ドキュメント) |

|             |   |  |   |     |  |
|-------------|---|--|---|-----|--|
| 3           | レポートをもとにエキスパート学習を行う。内容の交流と班やクラスへの説明についての手法を話し合い、プレゼン資料(スライド)を作成する。  | ・レポートをエキスパート班内で交流させる。<br>・エキスパート班でスライドを作成させる。                                    |   | ① ② | 【イ①思考・判断・表現】根拠と理由を明確にして、エコツーリズム企画について多面的・多角的に考察し表現している。<br>【ウ②主体的に学習する態度】他者の考えを取り入れながら、エコツーリズム企画を主体的に追究しようとしている<br>OPP, Google スライド, 行動観察  |
| 4<br>本<br>時 | 班でジグソー学習を行い、北海道地方と東北地方のそれぞれのプレゼン資料について、質問や改善点の意見交換を行う。              | ・エキスパート班で作成した資料をジグソー活動で班員に説明する。<br>・ジグソー活動における班員の説明に対して、質問や改善点を付箋に記入した後、意見交換を行う。 | ① | ①   | 【ア①知識】北海道地方と東北地方について、ジグソー学習による付箋記入によって、自然や諸産業などの地域的特色や課題を理解している。<br>【ウ①主体的に学習する態度】自分の考えが変容したことや次の時間の学習構想などを書き込み、課題を追究しようとしている。<br>Google スライド, OPP, 行動観察   |
| 5           | ジグソー学習における質問や改善点をもとにエキスパート学習を再度行うことで、自分たちの資料を修正する。                  | ・質問や改善点をエキスパート班で調査・吟味させる。<br>・内容を精査し、スライドを再作成させる。                                |   | ①   | 【イ①思考・判断・表現】根拠と理由を明確にして、エコツーリズム企画について多面的・多角的に考察し表現している。<br>Google スライド, 行動観察   |
| 6           | エキスパート班で再作成した自分たちの考えを学級全体にプレゼンテーションする。(クロストーク)                      | ・魅力的なエコツーリズム企画をクラスでプレゼンさせる。<br>・プレゼンを評価させる。                                      | ② |     | 【ア②技能】根拠となるデータ等を図やグラフ・写真等を用いて効果的に表している。<br>Google スライド, 行動観察, 評価用紙   |
| 7           | 単元の学習を振り返り、北海道地方と東北地方の特色について、多面的・多角的に考察し、比較・分析することで共通点を見出し、文章で表現する。 | ・北海道地方と東北地方の特色をベン図にまとめさせる。<br>・自分の考えを、他者と交流させた後、文章で地域の特色を表現させる。                  | ① | ① ② | 【ア①】北海道地方と東北地方の自然環境や諸産業、環境保全の取組(エコツーリズムなど)等、地域的特色を理解している。<br>【イ①】北海道地方と東北地方において、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、特色ある自然環境や諸産業の様子、持続可能な地域づくりに向けた取組(エコツーリズムなど)と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。<br>【ウ②主体的に学習する態度】他者の考えを取り入れながら、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。<br>OPP, 小テスト |

●学習状況を見取り、学習者の成長を認め励ますとともに必要に応じて指導、支援を行う「学習改善につなげる評価」

○観点別学習状況の評価や評定に用いる「記録に残す評価」

【努力を要する状況(C)に対する手立て】

- ・単元の学習を見通し、OPP(1枚ポートフォリオ)を利用することで、学習に系統性を持たせる。
- ・情報の収集やレポートの作成をする際には、資料やホームページ等を例示したり、ペアで話させたりすることで、課題解決に取り組ませる。
- ・エキスパート班で活動することで、調べ学習の内容の定着を図る。
- ・グループで意見交換をする際には、班員の話最後まで聴いたり、うなずきながら聴いたりするなど、共感的に傾聴するように促すことで、発言者が自信を持って発表できるようにする。
- ・プレゼン資料を紙媒体で配付する(クラウドにもアップする)ことで、発表者の発言内容の理解を深める。
- ・北海道地方と東北地方の特色の共通点を見出す際には、プレゼン資料の紙媒体を参考にし、ベン図(思考ツール)にまとめさせる。

7 本時の指導

(1) 本時の位置づけ( 4 / 7 )

(2) 題材名 北海道地方と東北地方の地域的特色とエコツーリズムの企画提案(ジグソー学習)

(3) 本時のねらい

北海道地方と東北地方の地域的特色や地域の課題について、エキスパート班で作成したエコツーリズム企画を、伝え合い、意見を交換し合う学習を通して、他者の考えを取り入れながら、主体的に追究するようにする。

本時における「問い」を生み出す工夫(社会科)

- ・エキスパート班で作成した資料をジグソー学習で班員にプレゼンテーションする。
- ・ジグソー学習において、班員のプレゼンテーションについて、質問や改善点を付箋に記入する。

(4) 展開

| 時間 | 学習活動   | 学習内容及び指導上の留意点(問いの工夫)   | 評価  |
|----|--|--|---|
| 5  | 1 本時のめあてを確認する。   | ○前時までの活動を振り返り、本時のめあてを提示する。<br><br>めあて:班員の説明に対して、質問や改善点を見出し、意見交換をしよう。<br><br>・エキスパート班で作成したスライド資料をジグソー学習で説明することを確認する。<br><br>C 班員の話最後まで聴いたり、うなずきながら聴いたりするなど、共感的に傾聴するように促す。   |   |
| 24 | 2 <ジグソー学習><br>エキスパート班で作成したスライドを交互に発表した後、質問や改善点を付箋に記入し、意見交換をする。<br>(12分×2回)<br>説明(4分)<br>付箋記入(3分)<br>意見交換(5分) | ○スライド資料を班員で共有したり、自分のクロームブックに表示したスライド資料を見せたりしながら説明するように促す。<br>・付箋について説明し、視点(生活・文化、産業、防災、エコツーリズム、考察)に基づいた質問や改善点を記入できるようにする。<br>・質問者は付箋に書いた内容を読み上げ、提案者に渡し、提案者は付箋を受け取ることを説明する。<br><br>予想される学習者の質問<br>・北海道では外国産の農作物にどのように対抗しているのか。<br>・東北ではなぜほぼ同じ時期に祭りを行っているのか。 | ・北海道地方と東北地方について、ジグソー学習による付箋記入を通して、自然や諸産業などの地域的特色や課題を理解している。 |
| 11 | 3 受け取った付箋をノートに分類し、調べる。   | ○ジグソー学習で班員から出た意見(付箋)をノートに貼り付け、自分の考えを深めるために調べ、ノートにまとめるように促す。<br><br>予想される学習者のノート<br>・北海道産の農作物の証明を与え、ブランド化を図る。<br>・夏休みの時期に行うことで、観光資源にしている。   |   |
| 10 | 4 振り返りを行い、次時の学習の構想をする。   | ○Google スプレッドシートに、北海道地方と東北地方の地域的特色を入力させ、AI マイニングで表示することで、全体で共有する。<br>・OPP(1枚ポートフォリオ)に振り返りを記入させ、次の時間の学習の構想を練らせる。  | ・自分の考えが変容したことや次の時間の学習構想などを書き込み、課題を追究しようとしている。               |
|    |  | 振り返り:友達の企画について、質問や改善点を伝えることは難しいと思ったけど、話をし易い雰囲気があり、自分の考えをはっきりと伝えることができた。  |   |